

平成 23 年 12 月 1 日

## 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動報告

### 1. 活動体制の整備

#### (1) 運営委員会

- ・国公立大学図書館の部課長クラスの委員により構成（13名）
- ・運営委員会の下に担当者クラスの協力員を配置（22名）
- ・交渉方針等の基本事項を策定

#### (2) 事務局

- ・国立情報学研究所学術基盤推進部に図書館連携・協力室を設置
- ・大学からの出向による事務局職員を配置（3名）
- ・交渉準備，参加館への情報提供，調査，連絡・調整等を担当

#### (3) ウェブサイトとメーリングリストの整備

- ・JUSTICE サイト
  - ・<http://www.nii.ac.jp/content/justice/>
- ・メーリングリスト
  - ・参加館担当者，運営委員会，契約状況調査用等

### 2. 活動計画

#### (1) 出版社交渉の強化

#### (2) 交渉のための基礎データの集約

#### (3) JANUL と PULC のコンソーシアム業務の統合

#### (4) 安定的・持続的な運営に向けた検討（組織のあり方，財源・人員確保等）

#### (5) その他の検討課題

- ・参加館向け支援活動
- ・人材育成
- ・新たな事業・サービスのための調査と企画

### 3. 主な活動経過

4月1日	JUSTICE の発足。
4月28日	契約状況調査を開始（事務局より参加館に調査票を送付）。
5月10日	第1回運営委員会開催（平成23年度活動方針，出版社交渉計画等について審議）。
6月3日	国立大学協会経営委員会にて，事務局職員が JUSTICE の発足について報告。
6月16日	国大図協総会ワークショップにて，事務局職員が JUSTICE の活動状況につ

	いて報告。
6月21日 ～31日	サンメディア社主催の「第7回学術情報ソリューションセミナー」(札幌, 東京, 大阪, 福岡で開催)に事務局職員が参加し, JUSTICE の活動を紹介。
6月28日	第2回運営委員会開催(出版社交渉の進捗, 版元提案説明会の開催, バックファイル等の整備について審議)。
7月11日 ～14日	Springer 社の Library Advisory Board Meeting (ソウルにて開催)に運営委員会のメンバーが参加。
7月15日	第1回連携・協力推進会議開催(JUSTICE の活動方針, バックファイル等の整備について審議)。
7月22日	国公立大学図書館協力委員会にて, 事務局職員が JSUTICE の活動状況を報告。
7月27日 /29日	Thomson Reuter 社主催の「図書館員のための Web of Science キャッチアップ・セミナー in 東京/大阪」に事務局職員が参加し, JUSTICE の活動を紹介。
9月1日～ 2日	私立大学図書館協会総会に JUSTICE として出展し, 広報活動。
9月10日	日本医学図書館協会総会分科会にて, 事務局職員が JUSTICE の活動を紹介。
9月12日 /14日	版元提案説明会を東京(12日, 学術総合センター)と大阪(14日, 関西大学)にて開催。
9月18日 ～21日	国大図書館コンソーシアム連合(ICOLC)のイスタンブール会合に JUSTICE 関係者を派遣。
10月14日	第3回運営委員会開催(出版社交渉のまとめと今後の課題, 年度後半の活動, 安定的・持続的な活動体制の確立)。
11月2日	日本薬学図書館協議会北海道・東北地区総会講演会にて, 事務局職員が JUSTICE の活動を紹介。
11月14日	東京西地区大学図書館協議会研修セミナーにて, 事務局職員が JUSTICE の活動を紹介。

#### 4. 出版社交渉

##### (1) 交渉体制

- ・運営委員会の在京メンバーと事務局により交渉チーム(約20名)を構成

##### (2) 交渉目標

- ・JANUL と PULC の契約条件の一本化
- ・現在の契約の継続と裾野の拡大
- ・新モデルの交渉開始

##### (3) 交渉結果

- ・交渉した出版社・ベンダー 44 社
  - ・提案書を提出した出版社・ベンダー 41 社
  - ・合意に至った出版社・ベンダー 38 社
  - ・合意に至った製品数 144 製品
  - ・交渉回数 約 90 回（事務局による予備交渉を含む）
- (4) 主な成果
- ・ほぼ全ての出版社との間で統一合意
  - ・プライス・キャップの引き下げ（Elsevier 社，Wiley-Blackwell 社）
  - ・バックファイル購入とカレント契約の包括的合意（Springer 社）
  - ・中小大学向けの特別提案に合意（Springer 社）
  - ・現在のパッケージ契約に代わる新たな契約モデルの交渉開始（Elsevier 社）
- (5) 版元提案説明会
- ・9月12日（東京），14日（大阪）
  - ・参加図書館員数（208 館，292 名），参加出版社数（38 社，28 ブース）
- (6) 課題
- ・交渉の進め方（スケジュール，体制）
  - ・円建て問題（特に Elsevier 社と Nature Publishing Group）
  - ・他のコンソーシアムとの連携（特に，日本医学図書館協会（JMLA）／日本薬学図書館協議会（JPLA）電子ジャーナル・コンソーシアム）
  - ・新モデルへの対応

## 5. 契約状況調査

- (1) 調査目的
- ・参加館の電子ジャーナル等の契約状況を確認し，交渉や契約モデルの策定に資する
- (2) 調査内容
- ・国立大学図書館協会コンソーシアム，PULC の両調査を集約・整理し，一本化
- (3) 調査方法
- ・調査対象
    - ・大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）参加館
    - ・対象館数：486 館（平成 23 年 4 月 1 日現在）
  - ・調査手法
    - ・参加館へ調査依頼メールを送付
    - ・参加館は JUSTICE の Web サイト（（参加館限定ページ）から回答票ファイルをダウンロード
    - ・回答票ファイルを，調査回答提出先にメールで提出
  - ・実施期間

- ・ 2011 年 4 月 28 日～2011 年 5 月 31 日（締め切り後の回答も受付）
- ・ 調査対象年
  - ・ 2010－2011 年（一部項目については、2009 年の実績も調査）
- (4) 調査結果
  - ・ 2011 年 8 月 2 日時点までの回答で集計
    - ・ 486 館中、459 館から回答あり（回収率 94.4%）
- (5) 結果の公開
  - ・ JUSTICE ウェブサイトの参加館限定ページに結果を掲載

## 6. 実務研修生の受入

氏名	派遣大学	期間	研修テーマ
柴田育子	一橋大学	平成 23 年 9 月 1 日～ 平成 24 年 3 月 31 日	・ バックファイル整備のための調査 ・ ERMS の共同運用モデルの検討
藤江雄太郎	大阪大学	平成 23 年 10 月 17 日～平 成 24 年 3 月 16 日	・ 電子リソース契約事務必携の作成 ・ 提案書・ライセンス契約書の標準化
西脇亜由子	明治大学	平成 23 年 12 月 1 日～ 平成 24 年 3 月 31 日 (予定)	(調整中)

## 7. 今後の活動

- ・ 安定的・持続的な運営に向けた検討（組織のあり方、財源・人員確保等）
- ・ 2013 年度出版社交渉の計画策定、交渉準備、予備交渉
- ・ 電子リソースの管理と利用提供のシステムの共同運用のための検討
- ・ バックファイル等の整備計画の策定

(以上)